

いたちがわらばん

鮎川・独川・川原番・瓦版 秋号



版画 宗森英夫

《瀬上池》休日は子どもや釣り人で賑わいますが、秋はモミジがとてもきれいです。

かみのむら 上之村の瓢ひょう

むかし、上之村千載橋のたもとの水車守の息子で、瓢と言う少年がおった。瓢は少々知恵が遅れておったので、近在の子供たちはもとより、親たちでさえ、いつも「馬鹿が！ ばかか！」とこつき回すので少年は悲しくて一人山の中に入っては泣いておった。

山の中には色々な鳥が啼いておった。瓢は泣きながら鳥の啼き声を聞いていた。うちだんだんつりこまれて、鳥たちと一体になる。そこでいつのまにか、鳥の啼き声を憶え、ひよどりだの、こまどりだの、うぐいすだの、カラスだの、どんな鳥の啼き声も鳴き分けられ、鳥たちと自由に話ができるようになった。

それがいつとなく近所の人たちに知られた。瓢を呼んで小鳥の声をさせる。瓢が鳴くと鳥たちも集まって来る。聞いている人たちは面白がる。聞いている人たちは、どうやら瓢は収入があるようになった。

そうすると近所の子供たちや親たちも、瓢を自慢するようになった。そのうち親たちが瓢の鳴き声で鳥たちを呼び集め、つかまえて鎌倉の街へ売りに行こうと言いだした。親に勧められて金になるならと瓢もその気になった。鳥を入れる籠をたくさん用意して瓢が鳴き始めたが、一匹の鳥さえ寄って来なかった。瓢の心はもう鳥たちと通わなくなっていた。

—これは事実をもとにしたお話です—
(よしのぼり)

この部分を切り取ってファイルすると便利です。

秋のお知らせ

事後談情報 これから情報

長寿犬の表彰
日時/10月26日(月)14時から
保健所に登録している犬で生後16年目の犬の表彰及び長寿犬の飼い方の話。
主催/栄区獣医師会、栄保健所
問い合わせ/ ☎894-6967

平成10年6月、本郷小学校が「わがまちの学校づくり」に指定されました。
テーマ:いたち川で学び、育ち、ふれあいを!
～わがふるさと本郷のまちづくり～
主な活動内容:児童代表委員会が中心になっていたち川の清掃。いたち川を中核にした地域保護者の教育力をとり入れた全体計画の作成。探検クラブの活動としていたち川の生物、水質の調査。

いたち川が2度目の「手づくり郷土(ふるさと)賞」を受賞
地域の個性をいかし、魅力ある地域づくりに成功している社会資本事業を表彰する、第13回手づくり郷土(ふるさと)賞(建設省主催)に稲荷森の水辺が選ばれ、いたち川は2度目の受賞となりました。
稲荷森の水辺は青葉橋と稲荷橋の間に整備された水辺で、川の蛇行や斜面緑地など、貴重な自然環境が残されています。

猫の募金(避妊手術)
日時/10月24日(土)18時～17時 本郷駅前
10月28日(水)15時～16時 大船SATY前
主催/動物と仲良く暮らせるまちづくり協議会、朱動物ボランティアグループ、栄保健所

自然を100倍楽しむフォーラム「耕せ!里山・楽農とんぼ」
～里山景観を残す荒井沢。よりよい形で次世代に伝える方法を皆さんと語り合いたいと思います。～
日時/12月13日(日) 11時～14時
会場/荒井沢おおくぼの畑(現地集合)、参加費/500円(中学生以下無料)
お客様/相川明子さん(山崎の谷戸を愛する会)、他
*なお、当日は鍋物や焼きいもをご用意します。
おにぎりなどは各自ご持参ください。
主催/荒井沢緑楽楽農とんぼの会、後援/栄区役所区政推進課
お申込み・お問い合わせ先/緑楽事務局:吉武 ☎894-0630
栄区区政推進課企画調整係 ☎894-8331

載せたい情報がある方は下記事務局までお知らせ下さい。

「ありがとう」 CANより
創刊号「春のお知らせ」欄にCANからのお願いを載せて頂きましたところ、アルミ缶を作業所まで持ってきて下さる方が増えました。お会いしたらお礼を…と思っておりましたが、なかなかお会いすることができずに居ます。八名のメンバーさんは回収、缶つぶしにと汗を流して頑張っています。これからもよろしく御協力をお願い致します。
連絡先: CAN ☎894-7297

天神橋～新橋水辺愛護会より
一人でも多くの方が参加してくれたら良いナ…と思う一方で、たくさんの方が集まったらどうしよう…の不安の中発足しましたが、回を重ねる度に参加者が増えて七、八月共に十数名の方が参加して下さいました。皆さん川を愛する方はかりで、常々何かやりたい…と思っていらしたとの事で、月に一回無理をせず都合の良い時参加していただく…という会です。又目に余る様な事がありましたら連絡して下さい。街の中に美しい川が流れている幸せを感謝しながら、川を掃除していきます。
連絡先: 高山常盤 ☎892-3302

新隊員紹介

数十年ぶりにいたち川で遊んだらなつかしいにおいがしました。(秋海)

夏は涼しいいたち川。秋は楽しみおいもほり。冬は…。(みんみん)

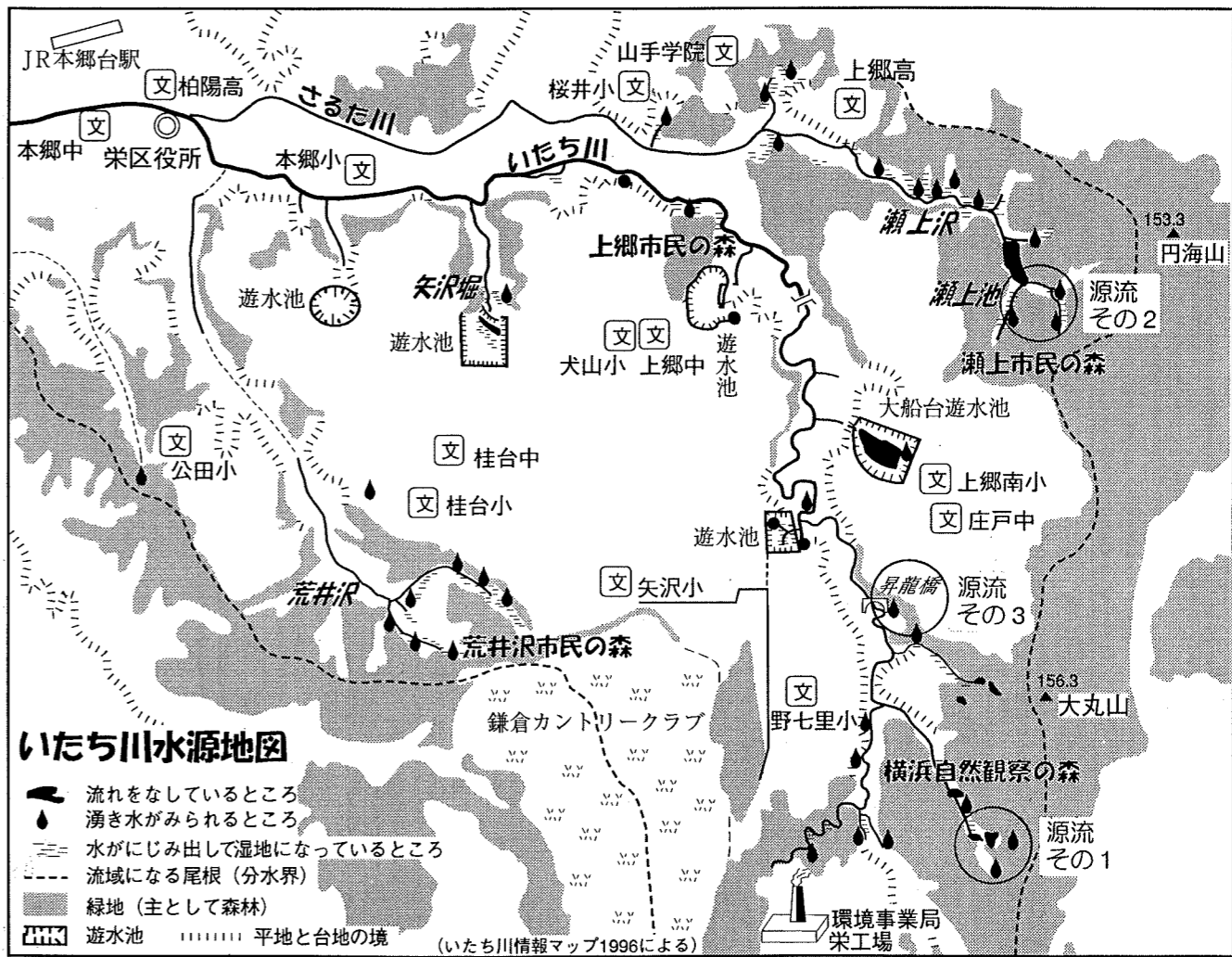
発行年月 1998年10月
(通刊3号)

発行: 独川 OTASUKE 隊 (いたちがわおたすけたい)
OTASUKE 隊事務局: 栄区役所区政推進課企画調整係 〒247-0005 横浜市栄区桂町303-19
TEL 045-894-8331 FAX 045-895-2260
栄土木事務所下水道係 〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷1-6-1
TEL 045-895-1411 FAX 045-895-1421
(お便り・お問い合わせはこちらまで)

いたち川の水はどこからくるの

いたち川の源流を求めて

横浜市内最高峰「大丸山（一五六・八m）」、「円海山（一五三・三m）」、さらには鎌倉市側にある「大平山（一五九・四m）」をおおく栄区は、大都市の中でも極めてまれな源流から川の誕生を観察できる街です。今回は独川の「水はどこから流れ出し、大きな流れに育ってゆくかを紹介」します。独川は柏尾川に合流するまで、二つの主流と八本以上の支流からなりたっています。下の図はその状態を表したものです。源流はそれぞれ主流、支流の先端に見る事ができます。図の印で示されたところが湧水が見られるところで、自然がそのまま残っている「横浜自然観察の森」、「瀬上市民の森」、「荒井沢市民の森」付近はたくさん湧き出している「源流」と名がつくと〇〇名水と呼ばれトウトウと湧き出しているようなイメージかも知れませんが、実際は落ち葉の下の地面からしみ出した水が斜面をつたって、また落葉や枯枝をつたってポタポタと落ちる所が本当の源流になります。ここでいくつかの源流を紹介しましょう。



■その1：独川で一番高い所からの湧き水

自然観察の森「ハイケボタルの湿地」とその付近の斜面。大丸山から少し南に下った海拔約一三〇mの所です。ここから湧き出した水が山の斜面を下り、途中たくさん谷筋から流れ出した仲間と一緒に大なる流れとなり江ノ島の海に注ぐ水の旅を想像するだけでも楽しくなってきました。

■その2：はっきりの観察できる源流

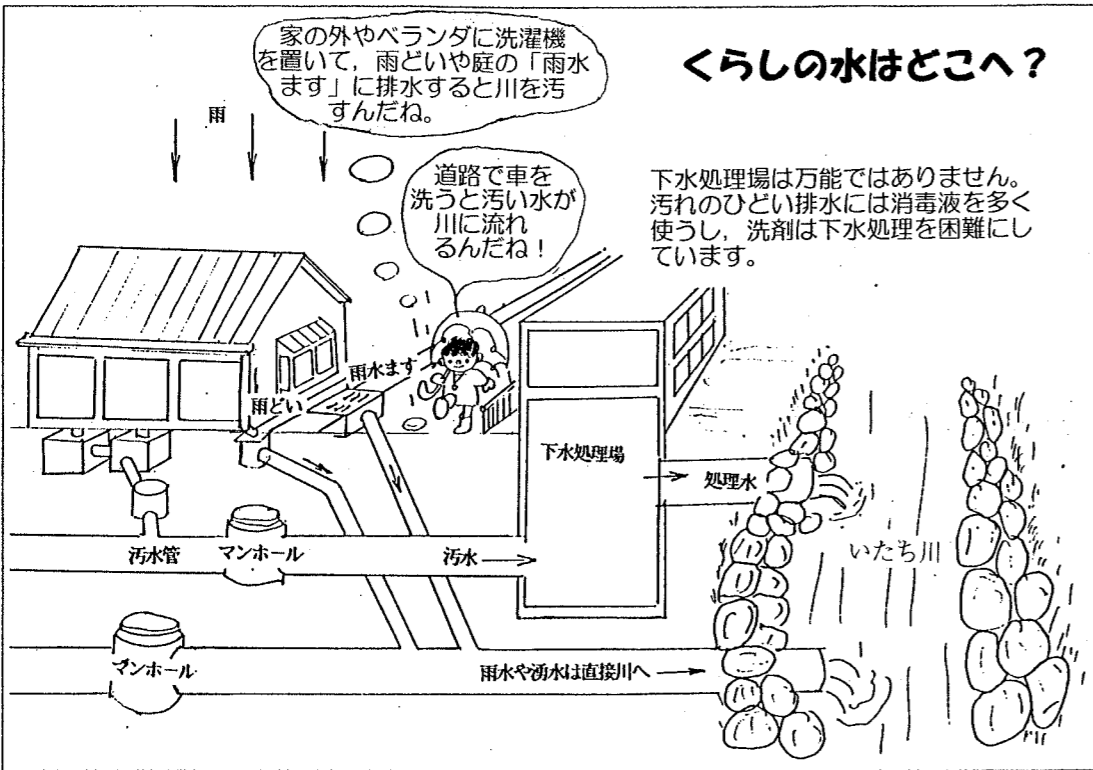
瀬上池とその上流です。瀬上池はその上流の谷筋の水をせき止めた人工の池ですが、ここに流れこむ小川はまるで木のように枝分かれして山の上流に続いています。枝分かれした流れと水の湧き出し・にじみ出しがいくつも見え、ぜひ一度観察してみてください。

■その3：上郷の名水

八軒谷戸・昇龍橋付近の山肌からの湧き出しは評判です。庄戸側の川岸の石積みの中からトウトウと流れ出しています。石積み赤茶けた色になっていますが上郷一帯の水は比較的鉄分を含んでいるため、このような色になるそうです。

源流に近い小川はまさに清流ですが、人家を通ったところから汚れが目につきます。原因の一つに「雨水ます」への誤った利用が考えられます。上図の排水処理の仕組みを理解され、正しい排水に心がけ、清流を保つようお互い気をつけましょう。

（谷溪）「源」みなもこ



リポートクワガタの小学生の川への想い

小学生の子も達にとってもいたち川は身近な公園と同じように格好の遊び場だ。だから、子ども達はいたち川に秘密の場所をたくさんもっている。

ザリガニが取れたり虫が隠れていたりしてわくわくするような場所、石を並べて遊ぶのに都合のいい場所、スッポンに出会いそうな怖い場所、草や木が生い茂っていて恐ろしい物があるような場所、浅いように見えても入ってみると底なし沼のように見えている場所等だ。そんな子ども達は、川の様子に敏感だ。晴れていて暑い日には、ザリガニがよく取れるとか、反対に雨が降った後は川の形が変わってしまうし、水草が増え砂が多くなり、生き物が全然取れなくなってしまうとか……。

また、川を汚すものになっているものについてもよく知っている。「みばかりではなく、この管から虹色に光った油や白く濁った水が流れてくるのか」ということまでちゃんと知っているのだ。この夏休み、いたち川を題材にして自由研究に取り組んだ子どもも多い。源流から川を辿って調べた子ども達の思いは、「いたち川が上流からいきれいになるといいの。」「いたち川を友だちにする子ども達みんなの願いにちがいない。」

（秋海）

いたち川周辺の生き物③ ：尾を上下に振るハクセキレイ

いたち川には、三種のセキレイがいますが、最も多いのが「ハクセキレイ」です。



白い顔に、くちばしから眼の上を通って首筋に抜ける過眼線が黒いので見分けやすい鳥です。全長約21センチですが、尾が長く、その尾を忙しく上下に振りながら歩きまわっています。飛びときは、数回羽ばたいてはスーと落ちる波状飛行をします。「チュチュン、チュチュン」と鳴きながら飛びまわります。河原の濡れた砂地などで、もつれている小動物をついばんだり、空中に軽く飛び上がった飛んでいる昆虫を捕らえて餌にしています。

いたち川で、ハクセキレイの次によく見掛けるのは「キセキレイ」です。ハクセキレイより少し小柄で、腹があざやかな黄色で背側は灰色で、眼の上には、白い線があります。「チンチン」と鳴きながら波形に飛びまわります。

《セグロセキレイ》は最も大きく、全体的に黒っぽく、眼の上には、白い眉斑があり、「シーシー、シーシー」と濁った声で鳴きながら飛びまわります。澄んだ声のハクセキレイとは区別できます。いたち川では、数が少なく、ときどき見ます。

（いもり）